

## (2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容を報告いたします。

### 消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位：千円)

科 目	19年度予算	18年度予算	増 減
学生生徒等納付金	4,465,579	4,312,507	153,072
手数料	64,334	64,400	△ 66
寄付金	57,500	80,169	△ 22,669
補助金	993,473	1,012,799	△ 19,326
資産運用収入	22,386	21,068	1,318
資産売却差額	0	0	0
事業収入	8,500	11,429	△ 2,929
雑収入	57,203	136,450	△ 79,247
帰属収入合計	5,668,975	5,638,822	30,153
基本金組入額合計	△ 432,076	△ 433,065	989
消費収入の部合計	5,236,899	5,205,757	31,142

学生生徒等納付金収入の増加が寄付金、補助金及び雑収入の減少を吸収し帰属収入が増加しました。

基本金組入額は自己資金による施設・設備関係支出及び過去債務の借入金返済を組入れる。

(消費支出の部)

科 目	19年度予算	18年度予算	増 減
人件費	3,833,656	3,945,545	△ 111,889
(教・職員人件費、役員報酬)	3,764,657	3,720,811	43,846
(退職給与引当金繰入額)	7,476	68,829	△ 61,353
(消費収支退職金支出)	61,523	155,905	△ 94,382
教育・管理経費	991,397	1,046,489	△ 55,092
減価償却額	718,088	720,363	△ 2,275
借入金等利息	57,992	63,795	△ 5,803
徴収不能引当金繰入額	0	0	0
資産処分差額	0	4,543	△ 4,543
[予備費]	50,000	0	50,000
消費支出の部合計	5,651,133	5,780,735	△ 129,602

新規採用により退職金を除く人件費は増加するが、退職者数の減少により退職金等が減り総人件費は減少した。

上記の結果、帰属収支差額比率は0.3%と収入超過となりました。また、翌年度への繰越消費収支差額は77億9千8百万円の支出超過となりました。

帰属収支差額(注1)	17,842	△ 141,913	159,755
帰属収支差額比率(注2)	0.3%	-2.5%	2.8%
当年度消費収支差額	△ 414,234	△ 574,978	
前年度繰越消費支出超過額	△ 7,383,820	△ 6,871,457	
基本金取崩額	0	62,614	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 7,798,054	△ 7,383,821	

(注1) 帰属収支差額＝帰属収入－消費支出

(注2) 帰属収支差額比率＝帰属収支差額÷帰属収入×100